

# 平成27年度 事業報告

## 事業の概要

本年度の事業の概要は次の通りであります。

### 1、研究助成（公募）

公衆衛生の向上及び生活環境の保全を促進させる。  
研究や活動を行っている個人又は団体に対し助成金を支給  
今年度は下記2テーマに関連する研究を助成対象としました。

#### ①「感染症及び外来生物」

- ・ 募集期間 4月～12月
- ・ 応募件数 11件
- ・ 助成支給件数 9件 （100万円/件）

「温度変化がヒトスジシマカのアルボウイルス感受性に及ぼす影響」

長崎大学ベトナム拠点 助教 角田 隆

「外来侵略アリの防除を目指した基礎生態学的研究」

香川大学 教授 伊藤 文紀

「国内シカが保菌する回帰熱ボレリアの全国調査」

国立感染症研究所 室長 川端 寛樹

「蚊媒介性ウイルスの宿主特異性に関する基礎研究」

山口大学 学術研究員 鎌田 龍星

「天然資源由来のベクター昆虫制御剤の探索研究」

広島大学大学院 教授 松浪 勝義

「植物由来乳酸菌が産生する殺虫タンパク質の基礎研究と宿物活性剤としての応用」

		広島大学大学院 教授 杉山 政則
「侵略的外来種アルゼンチンアリの原産地および侵入地における分布拡大経路の解明」		
		東京農工大学 講師 井上 真紀
「マダニ対策における密度評価と野外採集マダニの効力試験への導入可能性に関する研究」		
		日本環境衛生センター 課長 橋本 知幸
「野兎病菌の経表皮感染メカニズムに関する研究」		
		国立感染症研究所 主任研究官 堀田 明豊
② 「低温耐性菌による危害防除法の研究等」		
・ 募集期間		4月～12月
・ 募集件数		6件
・ 助成支給件数		6件（100万円/件）
「発酵・腐敗の境界線を探る～腐敗食品の微生物群集解析と低温細菌の動向把握」		
		石川県立大学 准教授 小柳 喬
「低温増殖性Morganella psychrotolerans Iに感染する溶菌性ファージの探索とその応用」		
		北海道大学 准教授 山崎 浩司
「リステリア菌に対する増殖物質と食品保存剤への応用」		
		広島大学大学院 教授 杉山 政則
「冷凍流通魚肉の細菌汚染レベル判別方法の構築」		
		(独) 水産大学 助教 福田 翼
「冷凍野菜製品における腸管出血性大腸菌の凍結損傷と微生物検査の適正化に関する研究」		
		国立医薬品食品衛生研究所 室長 工藤 由起子

